

2.42 PDA 首都圏公立高等学校即興型英語ディベート交流大会 2019

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2019年11月16日(土) 12:00-17:30

会場：東京都立日比谷高等学校

参加校：9校(日比谷高校、都立西高校、三田高校、八王子東高校、浦和高校、浦和第一女子高校、千葉高校、湘南高校、柏陽高校、)

参加者：生徒56名、教員31名

スタッフ：PDAスタッフ、九州大学、九州大学OB、一橋大学、相模原高校・PDA認定教育ジャッジ

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI財団

協力：東京都立日比谷高等学校

開会式では、会場校の日比谷高校校長 武内先生より、「志を同じにした生徒の集まりですので、大いに楽しんでください。」とエールが送られました。次に、PDA代表理事である中川智皓(大阪府立大学工学研究科准教授)より挨拶・参加した9校の学校紹介・ルールの復習・POIの確認を行いました。開会式中には、昨年入賞し、トロフィーを獲得した東京都立三田高校、神奈川県立柏陽高校、神奈川県立湘南高校による、トロフィー返還式が行われました。生徒たちは、今大会でこのトロフィーを手にするぞとやる気に満ちた目をしていました。



日比谷高校 武内校長のご挨拶



昨年度の第一位 三田高校



昨年度の第二位 湘南高校



昨年度の第三位 柏陽高校

第1ラウンドのお題は「**Term-exam should be abolished.**(定期テストは廃止すべきである。)」でした。昨年も参加したという生徒と今年が初めての参加だという生徒がおり、張り詰めた空気が漂う中、第1ラウンドが始まりました。緊張していた様子の生徒でしたが、ディベートが始まると白熱したラウンドを繰り広げました。自分のしたい勉強ができないという意見や、短期間で集中して勉強することが大事だという意見などが出ました。ディベートが終わると相手チームと握手をし、ジャッジの先生によるフィードバックの時間です。ディベートをした生徒たちだけでなく、そのラウンドを見学した生徒もジャッジのコメントを真剣に聞き、メモを取っていました。



都立日比谷 vs 都立西



県立浦和 vs 県立千葉

続く第2ラウンドのお題は、「**We should legalize euthanasia in Japan.**(日本で安楽死を合法化すべきである。)」でした。第1ラウンドで「効果的なPOIの行い方」「相手のポイントを予測してから自分たちの立論を考える」などジャッジの先生から受けたアドバイスを準備時間から活かそうとする様子が見られました。実際にディベートが始まると、第1ラウンドよりも活発にPOIも行われ、病気を抱えた当事者の視点や、家族の視点など、様々な視点から議論が展開されました。



柏陽 vs 三田



湘南 vs 八王子東

続く第3ラウンドのお題は、「**Japan should introduce the conscription system. (日本は徴兵制を導入すべきである。)**」でした。女性の出産やキャリアの問題、日本の安全など幅広い観点からディベートが行われました。また、ラウンドが終わると、日比谷高校の武内校長からの差し入れのお菓子を手に取りながら他校との交流が行われました。



積極的に POI を行います



お菓子を手に交流を深めます

そしてジャッジを務めた教員やスタッフがもう一度この人のディベートを見たいとエキシビジョンディベーターに推薦した6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「**Living in an apartment is better than living in a house. (一戸建てよりもマンションに住むほうが良い。)**」でした。セキュリティ面でどちらが良いかなどについて立論や反論、時には POI をしながら議論を行いました。結果は見学しながらジャッジをしていた生徒と校長先生の投票により **Opposition** の勝ちとなりました。エキシビジョンディベートの準備時間に PDA スタッフにより行われたジャッジレクチャーを参考に勝敗を考える機会となりました。



ジャッジレクチャー



校長先生もジャッジを行います



堂々とスピーチを行います

閉会式では、八王子東高校宮本校長先生より、「この即興型英語ディベートは単に英語力が伸びるというだけではなくて、色々な力が組み合わさって伸びていきます。今回のテーマも身近なテーマから社会に関心がないと考えつかないようなテーマまでありました。これは学校の中で学んでいることだけでは不十分で、社会に関心を持つことが重要だということなんです。また、15分という限られた時間の中で準備してディベートをするのは難しいことですが、この力は今後必要とされる力です。このような経験をできたということは皆さんにとってとても良いことだったと思います。他校の生徒とのネットワークを大事にしながらこれからも頑張ってください。」と労いのお言葉をいただき、第6回首都圏公立高等学校即興型英語ディベート交流大会の幕が閉じました。



八王子東高校 宮本校長先生



集合写真

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

PM _____さん (柏陽)
LO _____さん (日比谷)
MG _____さん (県立浦和)
MO _____さん (都立西)
LOR _____さん (三田)
PMR _____さん (湘南)



エキシビジョンディベーター

〈チーム賞〉

1st 柏陽
2nd 県立浦和
3rd 日比谷
4th 浦和一女
5th 湘南



柏陽高校 井坂校長 (柏陽) と



県立浦和高校 武内校長 (日比谷) と



日比谷高校 稲垣校長 (湘南) と



浦和一女高校 萩原校長 (都立西)



湘南高校 宮本校長 (八王子東) と

〈ベストディベーター賞〉

- _____ (柏陽)
- _____ (湘南)
- _____ (日比谷)
- _____ (千葉)
- _____ (都立西)
- _____ (都立西)
- _____ (都立西)
- _____ (日比谷)
- _____ (日比谷)
- _____ (柏陽)
- _____ (県立浦和)
- _____ (県立浦和)
- _____ (浦和一女)
- _____ (浦和一女)
- _____ (三田)



ベストディベーター賞 佐藤校長（千葉）と

〈POI 賞〉

- _____ (県立浦和)
- _____ (湘南)
- _____ (柏陽)
- _____ (千葉)
- _____ (都立西)
- _____ (日比谷)
- _____ (柏陽)
- _____ (柏陽)
- _____ (日比谷)
- _____ (浦和一女)



ベスト POI 賞 三保校長（三田）と

参加者の声（アンケートより抜粋）

生徒の声

- ・普段より英語のレベルが高く、内容も深い議論だった。他校の意見が面白かった。（日比谷）
- ・普段の授業で感じることのできない即興型ディベートの楽しさや、英語で社会問題を議論する楽しさを知ることができました。（日比谷）
- ・またやりたいです。次はもっとうまくできるように授業でちょっと練習したい。（日比谷）
- ・いろいろな考えの人が交流できたし、いろいろな英語が上手な人のスピーチを聞いた（三田）
- ・ジャッジの方の細かい指摘やアドバイスで何度も簡単させられることがあり、今後の練習におけるモチベーションにつながりました。（三田）
- ・回数を重ねるうちに英語をスムーズに言えるようになってきた（八王子東）
- ・本日、2回目のディベートで大変緊張しましたが何とかやり切ることができてよかったですと思います。ただまだまだ自分の力は未熟で、他の学校さんの足元にも及ばないと感じました。今日から改善し、またの機会にリベンジしたいと思います。（八王子東）
- ・意見の交換できることが良かった。普段こんなに思考力を使うことがない。（湘南）
- ・またやりたいです。（湘南）
- ・今回は自分の英語力の確認とレベルアップをすることができました。英語のリスニング力やスピーキング力の向上だけでなく、アーギュメントに対する目の向け方や相手の考えていることがどうなっているのか思考する部分を大きく向上させることができました。（県立浦和）
- ・楽しかったのに加えて、勉強にもなりました。（県立浦和）
- ・学校の中だけだと知ることができなかつた、自分の主張の弱い点や質問されやすい点などを学ぶことができました。（県立千葉）
- ・他校のディベートの様式などを学ぶことができ、刺激を受けることができた。また、他校の方と交流し、友達になることができた。（県立千葉）
- ・他校と交流できたことも嬉しかったし主張がうまく通じた時は、嬉しかった。（都立西）
- ・自分の主張を発信する事はこれからもっともっと大切になってくるので、もっと練習していきたいと思いました。（都立西）
- ・今回初めてディベートの大会に出てみて、他校のレベルに驚き、もっとうまくしゃべって良いディベートをしたいと思った。（浦和一女）
- ・たくさん経験を積んでまた来年挑戦したいです。（浦和一女）
とても視野が広がりました。今回は初めてのディベートで反省点の方が多く、本当に勉強になりました。英語力のみならず、社会情勢に対する知識、論説の仕方も身に付きました。（浦和一女）
- ・楽しかったです。（柏陽）
- ・私は3ラウンド中1ラウンドのみの参加だったけれど自分の弱点を改めて痛感できる貴重な機会になった。（柏陽）

教員の声

- ・ラウンド2、3のお題が重かったですが、皆頑張っていました。日ごろから、視野を広げておく必要があると感じました。（教員）
- ・生徒及びジャッジの方々の活動時間に見て、自分を省みることができた。（教員）
- ・他校の生徒の取り組みが見られたこと、ジャッジの勉強になったことが有益でした。本校の生徒も多くのことを吸収したようでした。（教員）